

年末の清掃プロ大忙し

札幌 シニア層から需要増

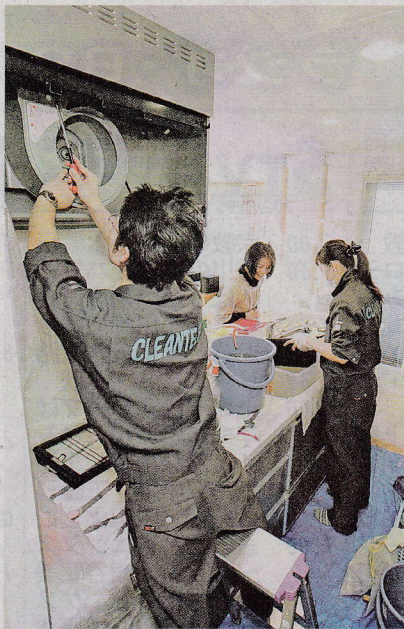
高齢化などを背景に、年末にプロのハウスクリーニング業者に水回りの清掃を依頼する家庭が増えてきている。業者は一年で最も忙しい時期を迎えている。

道内36店舗を展開する「おそうじ本舗 北海道支店」によると、家庭からの清掃依頼は年々増加傾向にあるという。年末は夏場の2〜3倍の依頼が集中する。利用者は「掃除が大変になった」というシニア層が6割を占めるという。

札幌市内の清掃会社「クリーンテック」でも年末は普段の1・5倍の依頼がある。12月中旬、市内のマンションに清掃に向かったのは同社の3人。台所では、換気扇やシンク周りを入念に掃除し、浴室は壁のパネルを外して内部の汚れまで落とした。

掃除のポイントは、「つけ置き洗い」で、汚れがひどい場合は、6度のお湯に洗剤を入れて10分ほどつけてから洗う。依頼主の50代

主婦は「慌ただしい年末に家がピカピカになって助かった」と話した。



換気扇を外して入念に掃除する清掃業者

湯がゆかや爽 「ねえぐら安」

湯の銭の札幌

銭湯の湯船にぶつかりと浮かぶ色鮮やかなユズ。爽やかな香りを楽しもうと、常連の男性客が顔を寄せた。「やっぱり安らぐねえ」。肩までしっかりと湯につかり、体はほかほかだ。

21日は1年で最も日が短くなる冬至。「ゆず湯」は江戸時代から続く冬至の風習で、血行を促進する効果から「入浴すれば風邪をひかなくなる」と言われる。

札幌公衆浴場商業協同組合は毎年、市内の加盟浴場約40軒で実施している。札幌市北区の錦湯(北21西4)は高知県産の60個を浮かべ

主婦は「慌ただしい年末に家がピカピカになって助

った」と話した。
(田口谷優子)